

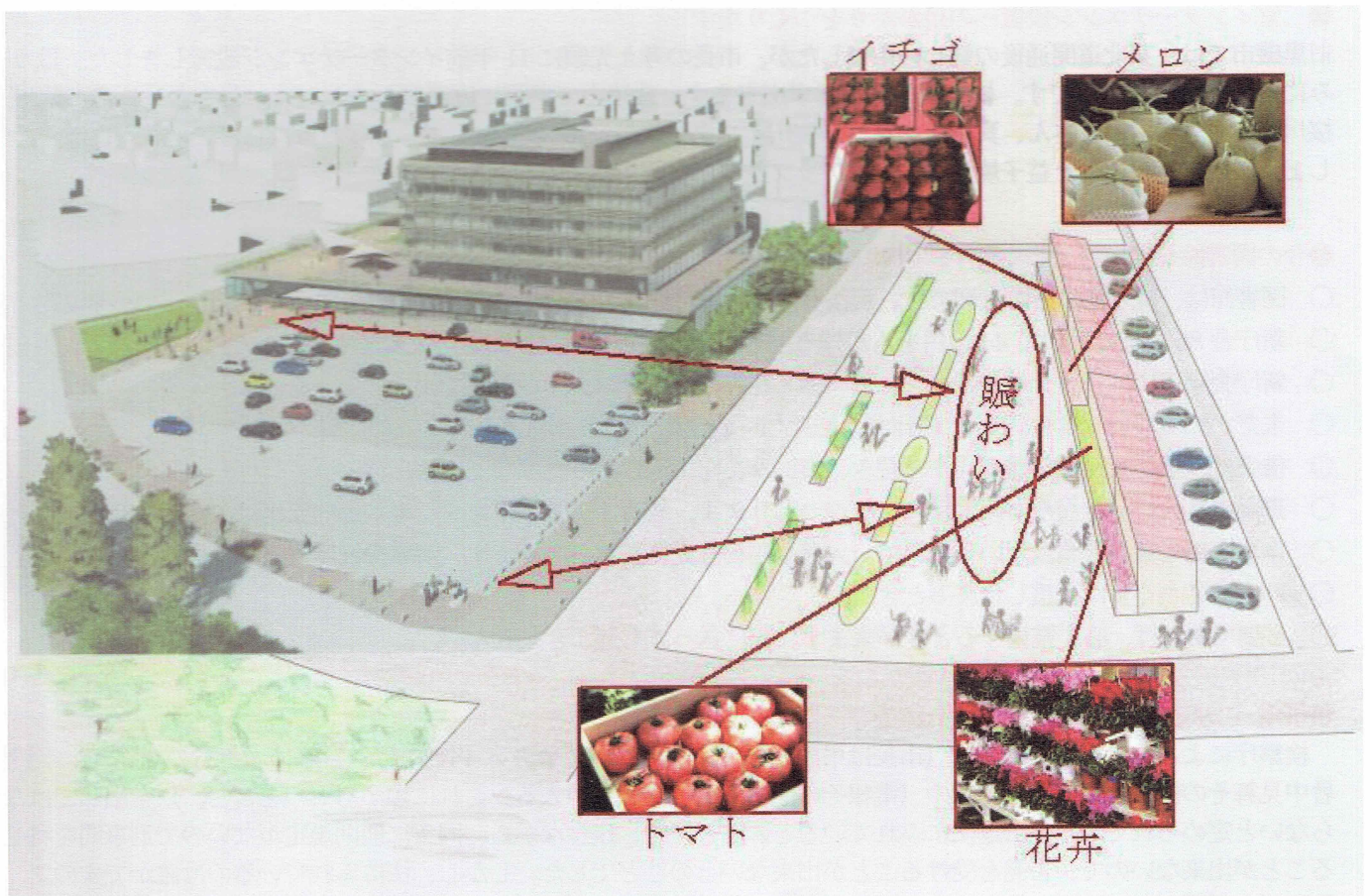
市民の皆さん

庁舎周辺整備は、図書館等（44 億円かけて---市長の考え）よりもイチゴ・メロン・トマト・花卉センター（4 億円）の方が、市民のためになります（深い思いと考えから）。

発行：佐々木重信後援会（電話 82-1255）

市民の皆さん、役所の近くに図書館をつかって賑わいをつくるのは、あまり聞いたことない発想です。真岡市の魅力度を下げってしまうような、それも皆の税金 44 億円をつかってのことです。今なら、何とか止めることができます。図書館は緑と静けさが必要です。皆の考えや思いはいかがですか、真岡市民の良識が試されています。

新庁舎周辺の好ましい構想

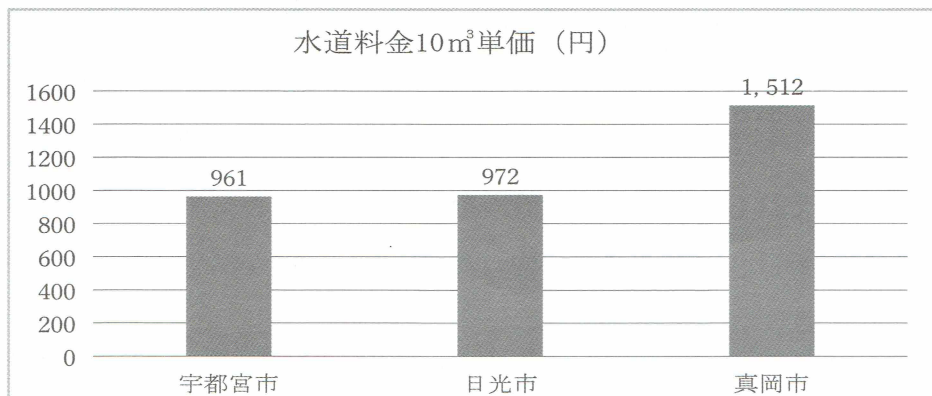


新庁舎周辺の賑わいをつくるのに、44 億円をかけて図書館等の整備をするのは、相応しくありません。地産地消でイチゴ・メロン・トマト・花卉センターの整備（4 億円で出来ます）の方が、理想的で市民のためになります。〜〜先に送っても遅すぎることはありません。「お金、借金、返済、人口減、コロナ禍、緊急性等から、今つくるのが良いのか、ちょっと立ち止まって、市民みんなで考える時間が必要です。」

今、真岡市に必要なこと

●水道料金を、宇都宮市と同じ料金（10 m³ 961 円）にします

1 ヶ月につかう 10 m³あたりの水道料金、宇都宮市、日光市、真岡市の比較です。家庭生活で初めて支出する水道料、ほぼ同じと思っていたら、こんなに違うのです。いつの間にか払わされているのが真岡市です。



「令和元年5月現在」

●二宮インターチェンジ設置への足がかりをつくります

旧黒磯市では、東北道開通後の難しい中でしたが、市長の考え先頭に 11 年前インターチェンジ設置しました。取り組みによっては出来るのです。皆で頑張れば必ず出来ます。政治力で県国に直談判しましょう。最も長い距離の真岡・桜川間です。二宮の皆さん、真岡インターか桜川インターから、10 数kmも戻らなければならない現状を、改善しましょう。いちご日本一と益子焼のイメージアップ並びに真岡市益子町など県東南部の発展に寄与します。

●今の図書館を壊して新しく新庁舎周辺につくることを見直します

- 図書館は、緑と静けさが大切です。現図書館は、樗に囲まれ理想的になって来たところです。
- 新庁舎 80 億円に続いて 44 億円をかける図書館等の周辺整備は、お金が大変です。
- 新庁舎周辺には、イチゴ・メロン・トマト・花卉の直売センターが賢明です。
- 未だかつてない 124 億円もの支出は、大きすぎて起債（借金）が心配です。
- 借金は、子ども達や孫達の代まで続き、市民みんなで返さなければなりません。
- 真岡市も人口減となり財政困難になりつつあります。教育・福祉・インフラ等基礎的支出は欠かせません。
- コロナ禍で自粛と緊張がいつばいで、大きな建物は先き送りが肝要です。解雇や倒産で先々の生活が不安です。
- ハコモノづくりは自重し自粛のときです。
- 必要であれば、必ず整備する 때가 来ます。先に送っても遅すぎません。

●弔電（市長は弔詞と云う）は、公職選挙法にふれているので速やかに止めることです

検察庁によると、告別式の弔電（市長は弔詞と云う）は、公職選挙法第 147 条に、自筆によるものを除き、年賀状、暑中見舞その他これらに類するもの（電報その他「弔電（弔詞）が入る」これに類するものを含む。）を出してはならないと定められており、公選法にふれているとのことです。残念ながら、同条に罰則規定がないので刑事罰を科せることが出来ないのです、告発を受けることが出来ないとのことでした。しかし、法にふれているのは確かですので、告別式の弔電（弔詞）は、直ちに止める必要があるとの見解でした。また、選挙や政治で新人には、不公平な行為でもあります。

尚、市の倫理規定に、市長は、法を遵守し、疑惑をもたれる行為はしてならないと定められており、弔電（弔詞）は、止めるべきあります。また、議会年始号では「公職選挙法にふれているので、自筆以外の年賀状は出せません」と年賀状、暑中見舞その他これらに類するもの（電報等）が、公選法にふれていると公言しているのです。

以上鑑み、告別式の弔電（弔詞）は、市民の代表として、市長は、法令を守り控えなければならないのです。

●市民のため市のため市長選に意欲ある人いませんか

市長選、4 月 18 日告示 25 日投票です。建物は自粛のときですのに、44 億円かけて図書館がつくれ、起債（借金）が膨れ上がって、子や孫の代まで借金返済に追われてしまいます。考えある方お願いします。出来れば、いたみを分かち合える市長が欲しいです。そうなれば、借金行政が改善され健全財政に戻って、真岡市の将来が安心です。